

1 (3) 実験動物における体内動態のまとめ

2 ラットに経口投与したFB1の吸収率は低く、投与量の4%以下で、ほとんどが代
3 謝されずに糞及び尿に排泄される。ラットに¹⁴C-FB1を単回強制経口投与した場合
4 の血中からの消失半減期は3.15時間、臓器における半減期は肝臓で4.07時間、腎
5 臓で7.07時間であった。また、¹⁴C-FB1を単回静脈内投与すると、血中からの消
6 失半減期は1.03時間であった。吸収された少量のFB1は、全身に分布するが、主
7 に腎臓及び肝臓に検出され、筋肉及び脂肪ではほとんど検出されなかった。

8 FB1は尿中及び糞中へ排泄されるが、ラットに強制単回経口投与をした場合、投
9 与後84時間目までの¹⁴C-FB1の尿中及び糞中への排泄はそれぞれ投与量の0.5%
10 及び90%で、性差はみられなかった。また、糞及び尿から加水分解されたFB1が
11 検出された。

12